

2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 ノースカロライナ州立大学シャーロット校
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年 8月 22日 ～ 2019年 4月 30日 出国日 2018年 8月 14日 最終帰国日 2019年 5月 18日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

行く前は英語力よりも寮暮らしや、食生活に不安がありました。しかし各寮に何人かいる生徒の中で選ばれて、寮生の手助けをする Residence Assistant が何かあるとすぐ対応してくれたり、ルームメイトも特に大きな問題がなかったりと寮生活は楽しく終えることができました。英語力もアメリカにいる間は成長しているか不安で悩むこともありましたが、日本に帰ってきて英語の動画を字幕なしでも理解できることに気づき成長に気づくことができましたので成果が見られたと思います。一年いると楽しく新鮮なだけでは終わらず、悩み苦勞することもあったので人間的にも成長できたと思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

特にありません。強いて言えばボスキャリに行こうと思っているのであれば、履歴書用の写真とスーツを持っていくといいと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

留学生であるという証明を事前に教授にすれば、試験に電子辞書を持ち込みことも可能です。留学先大学の受け入れ確認書類の写真をメールで添付し、事情を説明するだけなので、試験で成績が決まる授業は積極的に教授に伝えたほうがいいと思います。一回目の試験の時は、知らずに苦勞しました。授業は少人数の授業が、学習院大学の国社よりも多いように感じました。大人数の授業でも発言が多く、少人数の授業では発言しない生徒のほうが少ない

くらいでした。また、グループディスカッションがある授業では、予習をしていかないと置いていかれるので注意してください。全員、予習を必ずしてきます。平気で週に二回、10ページほどの文章を読ませられます。課題は多いですが、こなせないほどではありません。余裕があるときに、ためずにやっておくのが賢明です。語学や数学の授業ではネットでの課題提出が週に何度もあり、一つ一つは授業を聞いていれば難しいわけではないですが、一時間はかかるので少し大変でした。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスは学習院大学より広いですが、歩けないというほどではありません。しかし、授業開始前に授業場所を確認しておくといいと思います。また私がいたウィザースプーンという寮は授業教室から近くとても便利でした。図書館は基本的に24時間営業で週末でも、夜遅くまで開いていたのでとても便利でした。私は、プリペイドチャージのミールプランしか持っていませんでしたが、事足りました。学内には、ファーストフードショップや学食があり、全て、クレジットカードが使えたのでミールプランがなくても困らないほどです。夜中の12時まで営業しているウェンディーズやコンビニがあったので、食べるものに困るということはありません。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

特にありませんでした。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

学習院大学の国際交流センターのようなオフィスがあり、何か困ったことや質問があればそこに相談するようになっていました。親身になってくれる人もいれば、適当にあしらってくる人もいました。日本語のクラスのアシスタントをしていましたが、その日本語のクラスを教えている日本人の先生に日常的なことまで相談していました。留学中の日本人の大人の存在はわたしにとってとても心強かったです。日本クラブというものが日本の大学のサークルのようにあり、その活動に何度か参加しました。自分がアシスタントをしている日本語のクラスの子以外の日本に興味を持ってくれる子と知り合い、仲良くなることができました。他にはコーヒーアワーというものが、先ほど書いた国際交流センター主催であり、日本に興味のある学生だけでなく、留学生と仲良くしたい現地の学生や他の国からの留学生が多くいたので普段関わらない人たちと交流することができました。コーヒーアワーは月に二回開催されていました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特にありませんでした。日本にいる間にできる限り奨学金の応募に挑戦すると思います。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学内は、夜中に一人で出歩かない限り安全です。たとえ一人で歩いていても問題はありませんが、友達と連れ立って歩いている方が良いです。たとえ女の子二人でも一人で歩くより安全です。図書館に夜遅くまでいることがありましたが、極力誰かと寮に戻るようにはしていました。大学の周辺も基本的には安全ですが、日が暮れたら一人では絶対に歩かないほうがいいです。日中は一人でスーパーに買い物に行ったりしていましたが、変な人や物に近づかないようにするなど注意が必要です。一人で人が少ないところを歩くときは、たとえ明るくても注意しながら行動していました。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

良くも悪くもそれなりの田舎です。ですが、大学を終点駅としてアップタウンまでの電車は学生証で無料になるので時間はかかりますが、どこにでも行くことができます。また国際空港まで車で30分ほどのところにキャンパスがあるので旅行をしやすかったです。南部の中では北のほうにあり、南部文化が文化の全てではありませんが、大学の外に出ると黒人のほうが白人より多い印象にありました。大学の中にいると気が付きませんが、州としては共和党なので差別がないとも言えません。ですが、私は一度も差別を受けることはなかったもので、恐れる必要はありません。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Economics of social issues(3)	
Intro of international studies(3)	
Comparative Politics(3)	
Spanish I (3)	
Teaching Practicum<Japanese>(3)	
Comparative History(3)	
Collage Algebra(3)	
Topics in Women's Studies(3)	
Spanish II (3)	
Teaching Practicum<Japanese>(3)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 \$500 、(日本円) 約 54,000 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

大学のキャンパスの外に住んだほうが安く済みますが、授業の教室に近く、光熱費・水道費は既に寮費に含まれていたため、別に要求されることはありませんでした。また寮内で様々なイベントがあるので、寮に住むのは楽しかったです。私は、大学の北側に位置するウィザースプーン(Witherspoon)という寮のアpartメントタイプに住んでいました。一部屋にベッドが一つでベッドの数が四つあり、四人でキッチンとリビングルームを共有していました。また、バスルームは二つ部屋についていたので、隣に住んでいるルームメイトと二人で一つのバスルームを共用していました。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

協定交換留学だったので、学費は学習院に納めるだけで、留学先の大学には学費を払っていません。

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 片道 14 万円 (行きはお盆の時期だったから。)

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 \$920 、(日本円) 約 10 万円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ()

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

VISA とマスターカードと AMEX を使っていました。国によって使えるクレジットカードの種類が違うので注意したほうがいいです。友達と、遊んで割り勘になった時ように少し現金があるといいと思います。また、旅行先で現金のみというお店があり、そこに行った時にも現金を使いました。基本は、クレジットカードを使っていました。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

国際交流センターの奨学金を 30 万円、国際社会科学部から 15 万円を二種類頂いたため合計 60 万円を受給しました。支出は食費と寮費の足しにしました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

ISO

(2) 保険料

4 万円(月 \$ 40)

(3) 加入した保険の種類、内容

死亡以外のケガや盗難での保険適用

(4) 感想、良かった点・悪かった点

使わなかったのも特になし。UNCC が勧める Blue は高いので使わないほうがいい。(年間で26万円)

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

水筒、頑丈な携帯ケース(iFace)、リュックサック、筆記用具、マフラー

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

ヒールのある靴、日本茶

(4) 持って行けば良かったと思う物

夏服(基本、夏以外も夏服に羽織もので生きていきます。)

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

起床→授業→昼食→図書館、たまにジム→夕飯の準備→シャワー、たまに洗濯→入眠

(2) 週末

予定がなければ、目覚ましをかけずに寝て起きたら自炊→図書館→たまにハウスパーティー

8. 後輩へのアドバイス等

課題をおろそかにするのはだめですが、友達と遊ぶことも勉強の一つです。日本から勉強道具を持って行ってもやらないのもっていかないことをおすすめします。課題に加えて、自主勉強がしたいときは、友達と少し難しい会話をしたり、予習復習をしっかりしたりすると思います。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。